

地域医療支援病院の業務報告

	令和元年度	令和2年度
紹介率	92.2%	96.5%
逆紹介率	83.4%	83.6%
平均在院日数	18.5日	17.8日
病床利用率	66.5%	65.0%

地域連携室の活動状況(令和2年度)

かかわった入院	全入院患者の 19.3%
かかわった退院	全入院患者の 38.1%
相談件数	院内 8823件
	院外 1126件

薬剤師の

おくすりいろいろ話

其の48

目の疲れに効果があるとされる目薬

コロナ禍でスマホやパソコンを使う機会が増えたかと思いますが、その影響で目が疲れていませんか？そこで、目の疲れに効果があるとされる市販の目薬を紹介します。

【目がショボショボする、乾燥する場合】

成分

コンドロイチン硫酸エステルNa(潤いを保つ)

目薬

ソフトサンティア、新V・ロート、ドライエイトEX

【充血している場合】

成分

塩酸ナファゾリン、塩酸テトラヒドロゾリン(充血抑制)

目薬

サンテボーティエ

【ピントが合わず見づらい場合】

成分

ネオスチグミンメチル硫酸塩(目の調節機能を改善)

目薬

ソフトサンティアひとみストレッチ

【その他】

成分

グリチルリチン酸、アラントイン(炎症を抑える)
タウリン、L-アスパラギン酸、ビタミンB6・B12
(栄養を与える)

これらの成分が配合された目薬

スマイル40プレミアム、サンテメディカル

まずは目の疲れの原因を取り除くことが第一ですが、ここで紹介した目薬やサプリメントを参考にいただき、それでも酷い症状が続くようなら医療機関を受診しましょう。

参考サイト:薬の窓口

栄養関連ニュース

山口県民は野菜不足？！

山口県民の野菜の一日の摂取量は、全国平均を大きく回っています。野菜不足を解消するために、野菜をたくさん摂るコツを紹介していきます。

○加熱してかさを減らす

炒めたり、蒸したりすることでかさを減らしましょう。

○毎食1皿以上の野菜を食べる

野菜を一度にたくさん食べることは難しいので、3食に分けて食べましょう。

○そのまま食べられる野菜や冷凍野菜を常備

トマトやきゅうりなどの洗っただけで食べられる野菜や、解凍するだけで食べられる冷凍野菜を常備しておくと、手軽に野菜が食べられます。

○汁物は具たくさんに

味噌汁やスープは汁の量を控えめにし、野菜をたくさん入れましょう。

○朝食で野菜料理を取り入れる

朝食は野菜料理が不足しがちです。朝から野菜料理を食べましょう。

○つくり置きのできる野菜料理を活用

長く保存ができる野菜料理をまとめて作っておくと便利です。



参考資料:山口県健康福祉部健康増進課



徳山医師会病院だより



2021年 第52号
発行元 地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院
〒745-8510
周南市東山町6番28号
TEL 0834-31-2350
FAX 0834-31-1623
<http://www.tokuyamaishikai.com/>

24名の新しい仲間が加わりました！



4月1日、2021年度の徳山医師会病院入社式が行われました。今年は24名の新入職員が入社し、病院長より辞令を受け取りました。

今年も昨年同様コロナの影響のため、例年より規模を縮小しての開催となりました。

本日より新人の研修がスタートします！

また、今年度より新しい試みとして、3月22日に新入職員(新卒者のみ)の内定会を行いました。

新入職員同士で顔見知りになり、お互いに慣れていただくことで、少しでも不安を取り除くことが出来ればとの思いで開催しました。

自己紹介や昼食会、高い塔の作成を競う「マシュマロチャレンジゲーム」などを行い、交流を深めました。

好評だったので、来年度以降も実施したいと思います。



当院ではオンライン面会を実施しています。

詳しくは各病棟までお問い合わせください。



＜基本理念＞

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

＜基本方針＞

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



編集後記

6月になり、雨の日が多くなってきましたね。もう少しで梅雨に入るのではないのでしょうか。梅雨に入るとカビが繁殖しやすくなります。カビ菌は高温多湿と汚れが大好物なのです。

布団はカビのエサの宝庫なので、こまめに布団を干すことをお勧めします。雨で外に干せない場合は、日光に当てなくても室内でエアコンまたは除湿器をつけたまま干すのがカビ繁殖の予防になるそうです。

当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。

当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

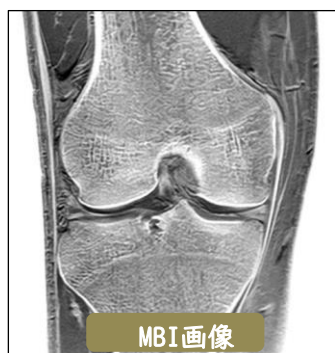
「画論」優秀賞受賞

MRI検査の新たな可能性

放射線科にて2020年5月よりAI技術を搭載した3.0T MRI装置が稼働しました。従来のMRI装置では、骨構造を描出しにくいという欠点がありました。新しく導入された機能を用いて欠点を補い、CT様の画像を生成するMR Bone Image(MBI)法を考案しました。この撮像技術を「画論28th」へ応募行った結果、全国から約500演題近くの中から当院の診療放射線技師が“優秀賞”を受賞させていただきました。

(画論：Canon Medical Systems 株式会社主催の画像診断技術の発展と医療への貢献を目的とした大会)

【CTとMBIの対比画像 と 画論28th“優秀賞”受賞画像】



Shinnanyo Orthopedics Clinic
新南陽整形外科クリニック 院長 花岡 篤哉

MBIの臨床面

当院では、すでに一つの「優秀な道具」として機能しています。若年者「腰椎分離症」の診断において、早期のものはレントゲンに写らずCT、MRIの検査が必要になりますが、MBIを用いることで一度の検査で評価ができます。CT検査の被曝の問題も避けることができます。



さっか整形外科クリニック 院長 目 昭仁

MBIの今後の可能性

MRI法にて骨情報が得られることで、骨折の有無、部位の特定、手術適応など判断することが出来ます。迅速な治療方針決定に繋がる可能性があり今後に期待が持てます。

徳山医師会病院
TOKUYAMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

放射線科部長 岡田 守久



今回の検討が整形外科領域の診断・治療の参考になれば幸いです。

診療放射線技師は、直接患者さんへの治療行為はできませんが、最良の検査を行い早期発見、早期診断に繋がる画像提供を行う事で、間接的に患者さんの役に立たせていただけると考えています。

“徳山医師会病院で検査を行ったから見つけて貰えた”と言っただけのように、どの診療領域においても日々、知識・技術の研鑽を積み最良の検査・画像の提供を行っていきたいと思います。

県内外の学会・研究会での発表にも力を入れています。

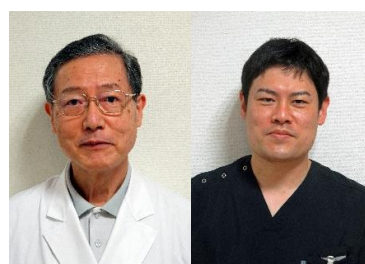


学会発表



放射線科チーム

※現在、エビデンスが確立されていない為、検討にご協力頂いている整形外科専門医の下、対象年齢や疾患を考慮し段階的に参照画像として画像提供を行っています。



明石整形外科医院

※敬称略

明石 英夫 / 明石 浩介



整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
石田整形外科

石田 高康



医療法人 とうえい会
香田整形外科医院

香田 和宏



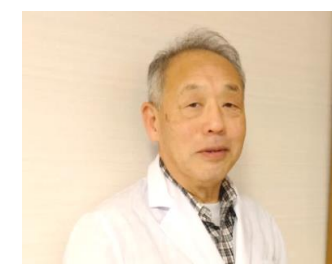
高取整形外科医院
TAKATORI Orthopedics Clinic

野間 光治



医療法人 松野整形外科医院

松野 尚弘



徳山医師会病院
TOKUYAMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

宮本 龍彦